

常盤台一・二丁目町会マンスリー

2022年6月号 No.30 Facebook: 常盤台一二丁目町会

TEL/FAX: 03-3969-8121 会長 岩崎 忠雄

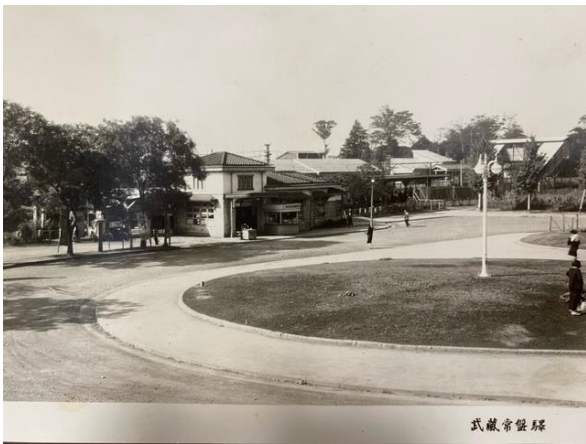
定時総会 5/28 とどこおりなく執り行われる

過去2年、コロナ禍により開催できませんでしたが、本年3年ぶりに定時総会を開催することができました。提出された5議案が、総会規則に則り滞りなく決議されました。令和4年の事業計画も引き続き未定が多いですが、状況を見極め適切に運営してゆきます。

議決後に新組長さんも3名参加し、和やかに意見が交換されました。一部を紹介すると、①アド街ック天国(テレ東 1/29 放映)は、常盤台の魅力が十分紹介されてなかったのでは?こちらが伝えたいことが扱われていなかった、という意見がありました。一方、「板橋区の田園調布」は全国的には分りやすいキャッチフレーズ、常盤台の魅力である曲線の街路デザインは紹介されていた、との意見もでました。②町会事務所の維持管理について引き続き留意して運営する必要がある。特に当町会は、法人格(町会事務所の土地建物を所有)を持ち、田園調布、成城と並び称される町、③子供たちに町会により親しみをもってもらうため、町会のロゴ入りの鉛筆を配ったらよいのでは?とお母さんの視点から意見(->新一年生への鉛筆プレゼント準備中です!)、④東上線立体化の話題、⑤本号でNo.30の「町会マンスリー」に期待するとの意見。(裏面に寄贈の1952, 1957年の武蔵常盤駅写真)

1952(昭和 27)年、1957(昭和 32)年の武蔵常盤(ときわ台)駅

この度、当町会のメンバーでもある東武鉄道の社員の方から、1952年、1957年頃のときわ台駅を写したアルバムが贈呈されました。当時の武蔵常盤駅職員 OB から贈呈されたものだそうです。常盤台の歴史を示す貴重な資料です。その一部を紹介します。



武蔵常盤駅

広々とした駅前ロータリーは今も昔も常盤台の最大の魅力のひとつ(1952)



ライト建築の系譜といわれる宝形屋根と大谷石の武蔵常盤駅舎(1957)



(休園) 駅長室

武蔵常盤駅の駅長室風景(1952)



降車した人々と武蔵常盤駅舎(1957)

寸借詐欺にご用心！知らない人からお金の話が出たらサギと思え！

「岩崎町会長の知り合い」と偽り騙す詐欺が発生。防犯カメラに映っており警察で手配中。